

		座長	A			座長	B			座長	C	
9：15～9：45	A1	林田朋幸 (帝京大学)	関根 章斗	集落営農連携組織の新たな姿と課題	B1	太田和彦 (南山大学)	山中鹿次	働く・働けない問題と生存保障-ベーシックインカムを活かした社会的弱者への生存保障	C1	朝岡幸彦 (白梅学園大学)	光成有香	酪農体験学習を支える二つのネットワークの再評価 ー地域交流牧場全国連絡会と酪農教育ファームの役割および今日的意義ー
9：45～10：15	A2		長谷川 理恵	中山間地域の集落営農における共助型広域連携モデル	B2		岡野一郎	理系／文系の共生は可能かー科学をめぐる思想史から見えてくるものー	C2		植木美希	欧州で進むアニマルウェルフェア（動物福祉）認証の現状と今後の展望
10：15～10：45	A3		柏 雅之	中山間地域農業・資源管理における広域経営システムの変化 ー集落営農の広域連携組織の展開方向をめぐるー	B3		丹羽 一晃	太田 和彦「The Routledge International Handbook of More-than-Human Studies」全体像のまとめ 大場 優志：3 章分の要約・紹介 丹羽 一晃：3 章分の要約・紹介 パネルディスカッション	C3		白鳥 武	UZBーJPN戦争レガシーからの調和的共生に向けた協同デザイン実践からの考察 ー地球共生ワークショップ2025：“Silk Road Empowerment for Eternal Peace, Friendship, and NonFriendship, and Non-War”.
10：45～11：15	A4	桑原孝史 (日本獣医生命科学大学)	張明軍	地方都市における地域住民の外国人労働者受容意識の構造分析	B4				C4		白鳥 武	企画セッション：「地球共生とデザイン」 Thematic Session "Geosymbiosis and Design" (in English/Japanese) Setsunan University (Japan) X SamSACU (Samarkand State Architecture and Construction University, Uzbekistan) Collaborative Design Project Reports, Findings, and Possibilities toward Kyosei / Harmonic Coexistence in relation to the Geosymbiotic Workshop 2025: “Silk Road Empowerment for Eternal Peace, Friendship, and Non-War (Uzbekistan) “. Students' brief presentation followed by teachers': 1. K. M. BOLIKULOVICH / 2. M.M. BAZAROVNA 3. A. F. TIMUROVNA / 4. T. SHIRATORI/ Discussion
11：15～11：45	A5		Shuang Gao, Haisong Nie	Supply Chain Digitalization and Agricultural Supply Chain Resilience: Evidence from China’s Quasi-Natural Experiment	B5				C5			
13：00～14：00												会員総会
14：00～16：00					B6		武谷嘉之	武谷嘉之「共生に資する地域貢献のあり方」 野口隆「大都市インナーシティ：大阪市鶴見区」 福留和彦「周辺地方都市：箕面市船場地区」 林田朋幸「山村：松阪市飯高町」 パネルディスカッション	C6		高橋宏之	高橋宏之「動物園におけるふれあいとは」 下村幸治「大阪市天王寺動物園におけるふれあい活動」 パネルディスカッション